

## 日本生協連の新電力会社「地球クラブ」を通じて 再生可能エネルギーの自らの事業所での活用を開始 4月1日より電力の売電及び利用を開始します

コープネット事業連合（本部：埼玉県さいたま市、理事長：赤松 光、会員生協：関東信越の6生協）は、4月1日より事業を開始する日本生活協同組合連合会（本部：東京都渋谷区、会長：浅田 克己）の新電力会社（PPS\*1）「株式会社地球クラブ」を通じて、コープネット事業連合の物流施設に設置している太陽光発電パネルで発電した電力の売電を開始します。あわせて、その電力を主に会員生協のコープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：田井 修司、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）の店舗、宅配センター等で活用することで、「自ら生み出した再生可能エネルギーの自らの事業所での活用」を始めます。

地球クラブへの売電には、コープネット事業連合の物流施設であるコープネット小山要冷蔵集品センター（栃木県小山市）、コープネット印西冷凍センター（千葉県印西市）、コープネット東金要冷蔵集品センター（千葉県東金市）に設置している太陽光発電パネルからの発電量合計約2.3MWの電力を使用します。

地球クラブを通じて購入した電力は、コープみらいの88店舗、宅配サービス「コープデリ」の69宅配センター、本部系施設等で、4月1日より順次使用を開始します。



地球クラブから購入した電力を使用するコープ南浦和店（さいたま市）

コープみらい、コープネット事業連合では今後、地球クラブを通じて、太陽光発電だけでなく、食品残さを活用したバイオガス発電や木質バイオマス発電による再生可能エネルギーの普及促進を図り、創出された電力の活用を予定しています。再生エネルギーの利用率を高めていくことで、コープネットグループの地球温暖化防止自主行動計画\*2におけるCO<sub>2</sub>削減につなげるとともに、原子力発電に頼らないエネルギー政策の実現と持続可能な社会づくりを目指してまいります。

※1 Power Producer and Supplier の略。一般電気事業者（電力会社）以外で、50kW以上の高圧電力を必要とする大口需要家に対し電気の小売り供給を行う事業者。

※2 2020年までに、2005年度比で温室効果ガス15%削減、および再生可能エネルギーを2010年度設備容量の20%相当の創出を目標としています。

### 《生活協同組合連合会コープネット事業連合 概要》

【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13  
 【理 事 長】 赤松 光（あかまつ ひかる）  
 【会員生協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープにいがた  
 【総事業高】 4,992億円（会員生協事業高計） ※2013年度  
 【組合員数】 438万人（会員生協組合員計） ※2015年2月20日現在  
 【ホームページ】 <http://www.coopnet.jp/>